

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浦和学院中学校建設工事	階数	地上4F
建設地	さいたま市緑区大字代山字原ノ下629番1、631番、641番1、645番、大字寺山字下223番1、235番3、大字寺山字本村1139番3、1141番1	構造	RC造 一部S造
用途地域	指定なし地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	760 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年6月17日
敷地面積	7,097 m ²	作成者	
建築面積	2,877 m ²	確認日	2024年06月21日
延床面積	7,725 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 4
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 2.5%≦[昼光率] カーテンと庇を合わせることでグレアを制御します	Q2 サービス性能 日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。 0.1≦[壁長さ比率]<0.3	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.67 BEI _m =0.67	LR2 資源・マテリアル LGSとGL工法を使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率86%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)浦和学院中学校建設工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境			0.40	-	-		3.1		
1 音環境		3.0	0.15	-	-		3.0		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-	-				
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-				
2 温熱環境		2.0	0.35	-	-		2.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.60	-	-				
2 外皮性能		3.0	0.40	-	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		3.8	0.25	-	-		3.8		
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-				
1 昼光率	2.5% ≤ [昼光率]	5.0	0.60	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-				
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-				
1 昼光制御	カーテンと庇を合わせるによりグレアを制御します。	4.0	1.00	-	-				
3.3 照度	500lx ≤ [照度] < 750	4.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-				
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-		4.0		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	-	-				
4.2 換気		3.3	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.33	-	-				
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上	4.0	0.33	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-				
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御	ビル全体の禁煙が確認されている。	5.0	1.00	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		2.9		
1 機能性		2.7	0.40	-	-		2.7		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30	-	-				
1 広さ感・景観		3.0	0.50	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		1.0	0.50	-	-				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-		2.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。	4.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.2	0.30		-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30		-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	4.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性	電気配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性	通信配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.67	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10		-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.67	4.3	0.50		-	-	4.3
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.1
1 水資源保護			2.2	0.20		-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60		-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:ビニル床シート、断熱材	4.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSとGL工法を使用している。	5.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率86%	3.5	0.33		-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	1.00		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.60		-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.20		-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20		-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	